

日本PTA 諮問会議は、令和2年8月28日に設置が承認され、これまで全体会2回、専門部会7回が開催されました（令和3年1月31日現在）。前号でも紹介しましたが、会長が指名した諮問会議議長が召集し、日本PTAに求められている今日的課題や、将来を見据えた本会のあり方等について検討を行うものです。

現在は議長を含め8名の委員にて構成されており、検討事項を会長へ答申を行う形で進行しています。早期対応を求められる「新型コロナウイルス感染症ワーキンググループ」からは、5回の答申がなされ、公益目的事業を進めるにあたって、理事会において直接的な判断材料につながっています。討議内容について、早期・今期・中長期の的確な見極めをし、会長への答申が成されています。また、見える化にも心がけ、当然のことながら開催申請・報告書（議事録）を記録し、透明性のある進行が行われています。

【規程等整備ワーキンググループ】

現状を見極め理事会と連携を取りながら、順を追って整備し答申していきます。法改正等による新しい観点から規程等を見直すことが必要で、今年度だけではなく今後も必要な専門部会との認識です。

□定款、規程等整備方針のまとめ（法人運営、労務管理、事務局管理、様式類等）を行う

- ▼定款・定款施工細則：理事会からの提議により討議する
- ▼旅費規程：現在の規程を遵守しながら現状にあった規程に整えていく
- ▼会員入退会：規程の新設を検討し届け出諸書票についても作成する
- ▼寄付金等取扱：公益法人として規定を新設すべき
- ▼就業規則：育児・介護休業規定の新設やパートタイマー等について、現在の法改正に沿ったものに改訂すべき点が多い

【社会教育・初等中等教育問題ワーキンググループ】

日本PTAとして今日的課題を考える上で、大きなテーマを持ったワーキンググループです。関係府省庁等に対して要望や、対等に話し合う場を作っていくことが必要で、その土台を討議し提案していきます。

□GIGA ネットスクール構想における、日本PTAからの要望等を取りまとめる

- ▼学校教育現場におけるICT環境整備が遅延している実態があることから、日本PTAとして関係機関へ要望を行うことに資する内容について2~3月を目途に提示する
- ▼中教審における審議状況や今後の流れ等を参考に、子どもたちのICT活用に関し留意すべき点などを社会教育関係団体として保護者に発信するための内容を取りまとめる

【新型コロナウイルス感染症対策ワーキンググループ】

昨年から大流行している新型コロナウイルス感染症は、日本PTAの事業にも大きな影を落としています。事業遂行のための予防ガイドラインの整備に加え、差別・偏見等についてまとめていきます。

□現在までに5回の答申がなされたが、以降も情勢に素早く対応できるよう情報収集を行う

- ▼第1回：国内研修事業における新型コロナウイルス対応について 等
- ▼第2回：誹謗中傷、差別、偏見に対する取り組みについて 等
- ▼第3回：新型コロナウイルス感染症対応ガイドの第二版について 等

▼第4回：令和2年度年次表彰式における感染防止対策の評価 等

▼第5回：令和2年度国内研修開催について 等

【組織のあり方プロジェクトチーム】

一昨年度まで、会員協議会とのつながりを重視し膝詰めの懇談や、役員が派遣でブロックへ訪問し情報の伝達を行ってきました。昨年からのコロナ禍により、代表者が実際には顔を合わせられていない状況の中、PTAの歴史や意義・公益社団法人について触れながら、リモート等を活用し会員協議会と意見交換の場を設けることができるよう模索します。

▼会長からの要請により、プロジェクトチームを活動させ、会員協議会との意見交換を行う

▼ブロック協議会・会員協議会からの要請に応じ、意見交換を行う